

## 高等学校 地理歴史（日本史）

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

- 1 下の表は、4年に一度開催される夏季オリンピックの開催回、開催年、開催国と開催都市を表したものである。この表を見て、あとの(1)～(10)の問いに答えよ。

開催回	開催年	開催国	開催都市	開催回	開催年	開催国	開催都市
1	1896	ギリシア	① <u>アテネ</u>	16	1956	オーストラリア	メルボルン
2	1900	② <u>フランス</u>	パリ	17	1960	イタリア	⑥ <u>ローマ</u>
3	1904	③ <u>アメリカ</u>	セントルイス	18	1964	日本	東京
4	1908	④ <u>イギリス</u>	ロンドン	19	1968	メキシコ	メキシコシティ
5	1912	スウェーデン	ストックホルム	20	1972	⑦ <u>西ドイツ</u>	ミュンヘン
⑤ <u>6</u> (中止)	1916	ドイツ	ベルリン	21	1976	カナダ	モントリオール
7	1920	ベルギー	アントウェルペン	22	1980	⑧ <u>ソ連</u>	モスクワ
8	1924	フランス	パリ	23	1984	アメリカ	ロサンゼルス
9	1928	オランダ	アムステルダム	24	1988	韓国	ソウル
10	1932	アメリカ	ロサンゼルス	25	1992	⑨ <u>スペイン</u>	バルセロナ
11	1936	ドイツ	ベルリン	26	1996	アメリカ	アトランタ
12 (中止)	1940	日本	東京	27	2000	オーストラリア	シドニー
13 (中止)	1944	イギリス	ロンドン	28	2004	ギリシア	アテネ
14	1948	イギリス	ロンドン	29	2008	⑩ <u>中国</u>	北京
15	1952	フィンランド	ヘルシンキ	30	2012	イギリス	ロンドン
				31	2016	ブラジル	リオデジャネイロ

- (1) 表中の下線部①に関連して、アテネは古代ギリシアにおけるポリスの一つで、ペルシア戦争後、民主政が完成し栄えた。ペルシア戦争について述べた文として正しいものを、次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 イタリア半島のギリシア人植民市による反乱が、ペルシア戦争のきっかけとなった。
- 2 アテネ市民の重装歩兵軍は、マラトンの戦いでササン朝ペルシア軍を打ち破った。
- 3 ペリクレスの指揮のもと、サラミスの海戦でアケメネス朝ペルシア軍を大敗させた。
- 4 ペルシア戦争後、多くのポリスはデロス同盟を結び、アテネはその盟主となった。
- 5 オクタウィアヌスが、アクティウムの海戦でアントニウス・クレオパトラ連合軍を破った。

(2) 表中の下線部②に関連して、1643年に即位した国王ルイ14世が関わった戦争として誤っているものを、次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ユグノー戦争
- 2 南ネーデルラント継承戦争
- 3 スペイン継承戦争
- 4 ファルツ継承戦争
- 5 オランダ侵略戦争

(3) 表中の下線部③に関連して、アメリカが軍を派遣したベトナム戦争について述べた文として正しいものを、次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 南ベトナム解放民族戦線が1960年に結成され、北ベトナムと激しい戦いを展開した。
- 2 アメリカは、ケネディ大統領の時代に北ベトナムに対する爆撃を開始した。
- 3 ニクソン大統領は、ベトナム和平協定を結び、アメリカ軍をベトナムから撤退させた。
- 4 ベトミンを結成したホー＝チ＝ミンは、ベトナム戦争後にベトナム民主共和国の独立を宣言した。
- 5 ベトナム戦争は南ベトナム側の勝利に終わり、ベトナム社会主義共和国が成立した。

(4) 表中の下線部④に関連して、右の絵はイギリスと中国の王朝であった清との間で、1840年に起こった戦争の場面を描いたものである。この戦争に関連した文として誤っているものを、次の1～5から一つ選べ。

解答番号は

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

出典：Destroying Chinese war  
junks, by E. Duncan (1843).

- 1 当時の清ではインド産のアヘンの輸入が増え、大量の銀が国外へ流出するようになった。
- 2 清では林則徐が広州に派遣され、アヘンの取り締まりにあたった。
- 3 清は、南京条約で香港島をイギリスに割譲し、厦門など5港を開港した。
- 4 清は、領事裁判権や最恵国待遇を認める不平等条約をイギリスと結んだ。
- 5 清は、アメリカと黄埔条約、フランスと望厦条約を結びイギリスと同様の権利を認めた。

(5) 表中の下線部⑤に関連して、1916年に開催予定であったベルリン大会は第一次世界大戦がはじまったことにより中止となった。第一次世界大戦に関する文として、正しいものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 サライェヴォでロシア帝位継承者夫妻が暗殺されたことが、戦争勃発の引き金となった。
- 2 ドイツ軍は、マルヌの戦いで南下を阻止され、この後西部戦線は膠着して塹壕戦となった。
- 3 イタリアは、三国同盟の規定に従いイギリス・フランスに宣戦した。
- 4 アメリカは、ドイツによるルシタニア号事件を理由に同盟国側として参戦した。
- 5 フランスのド＝ゴールは、イギリスで自由政府を樹立し、レジスタンスをよびかけた。

(6) 表中の下線部⑥に関連して、ローマは古代ローマの中心的な都市であったが、次のア～オのうち、ポエニ戦争後の古代ローマについて述べた文として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。下の1～5から一つ選べ。解答番号は

- ア 長期の戦争に出征し、農地を荒廃させ没落した多くの中小農民が、ローマに流入した。  
イ 属州から安い穀物が輸入されたことで、コブデンらが反穀物法同盟を結成した。  
ウ 属州の徴税請負を行う騎士階層は、属州の拡大によって富裕化した。  
エ 戦争捕虜を奴隷として使ったラティフンディウムにより、大規模な農業経営が行われた。  
オ ホルテンシウス法が成立し、貴族と平民との本格的な身分闘争がはじまった。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	○	○	×	×	○
2	○	×	○	○	×
3	×	○	○	○	×
4	○	×	○	×	○
5	×	○	×	×	○

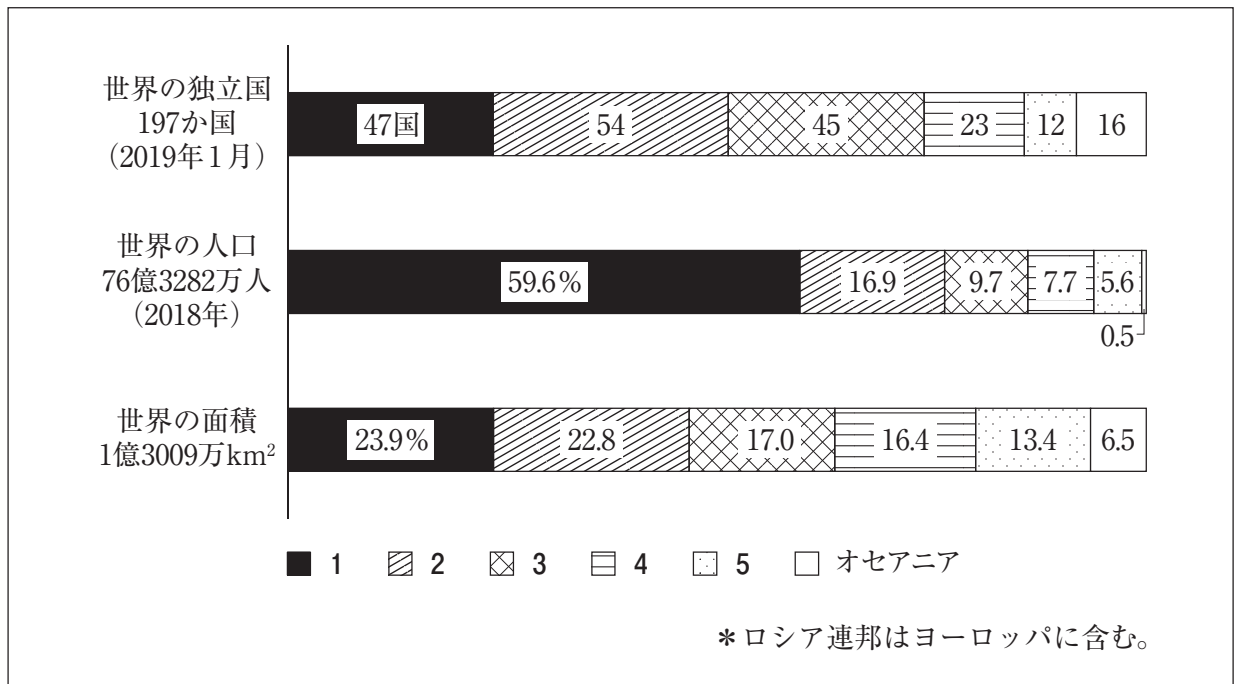
(7) 表中の下線部⑦に関連して、ベルリンの壁が崩壊し、東西に分断されたドイツが統一されたのは、表中の開催回のどの回とどの回の間か。正しいものを次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 第22回と第23回の間
- 2 第23回と第24回の間
- 3 第24回と第25回の間
- 4 第25回と第26回の間
- 5 第26回と第27回の間



2 地理に関する次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1) 下のグラフは世界の独立国と世界の人口、世界の面積の割合を表したものである。グラフ中の1～5はアジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカを示している。そのなかでヨーロッパにあてはまるものを次の1～5から一つ選べ。解答番号は



(『2019データブックオブ・ザ・ワールド』より作成)

(2) EU加盟国内で認められていることがらについて述べた次の文ア～エのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- ア 国境の通過が自由で関税もない。
- イ 加盟国すべての国が単一通貨ユーロを導入している。
- ウ ある加盟国で取得した学位は他のすべての加盟国でも認定される。
- エ 域内のどこからでも貯蓄や投資が可能である。

	ア	イ	ウ	エ
1	○	×	○	○
2	○	○	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	○	×	○	×

(3) 下の表は、主な経済地域であるASEAN（東南アジア諸国連合）、EU（ヨーロッパ連合）、NAFTA（北アメリカ自由貿易協定）、MERCOSUR（南米南部共同市場）の面積と人口、GDP、貿易額を示したものである。表中のア～エに該当する経済地域の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

主な経済地域（2016年）

	面積 (千km <sup>2</sup> ) (2015年)	人口 (百万人)	GDP (名目) (億ドル)	貿易額 (億ドル)	
				輸出	輸入
ア	4,486	641	25,559	11,465	10,952
イ	4,375	508	164,870	52,518	51,030
ウ	21,783	486	212,312	22,185	30,402
エ	13,887	304	27,466	2,858	2,429

(『世界国勢図会2018/19年版』より作成)

	ア	イ	ウ	エ
1	EU	ASEAN	NAFTA	MERCOSUR
2	EU	ASEAN	MERCOSUR	NAFTA
3	ASEAN	NAFTA	MERCOSUR	EU
4	ASEAN	EU	MERCOSUR	NAFTA
5	ASEAN	EU	NAFTA	MERCOSUR

(4) 日本の国土について述べた文を読み、(ア)、(イ)に当てはまる数字の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

2017（平成29）年10月1日現在、日本の国土面積は約（ア）万km<sup>2</sup>である。日本の権限や権利がおよぶ海域である領海、排他的経済水域と延長大陸棚の合計面積は約465万km<sup>2</sup>に達する。また約（イ）の島からなる日本の海岸線は約3.5万kmあり、世界6位の長さとなっている。

(『日本国勢図会2018/19年版』より作成)

	ア	イ
1	38	3,000
2	38	5,000
3	38	7,000
4	27	5,000
5	27	7,000

(5) 下の表は1980年度から2016年度までの日本の発電電力量を示したものである。表中のア～オに該当する発電エネルギー源の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

発電電力量(会計年度)(単位 百万kWh)

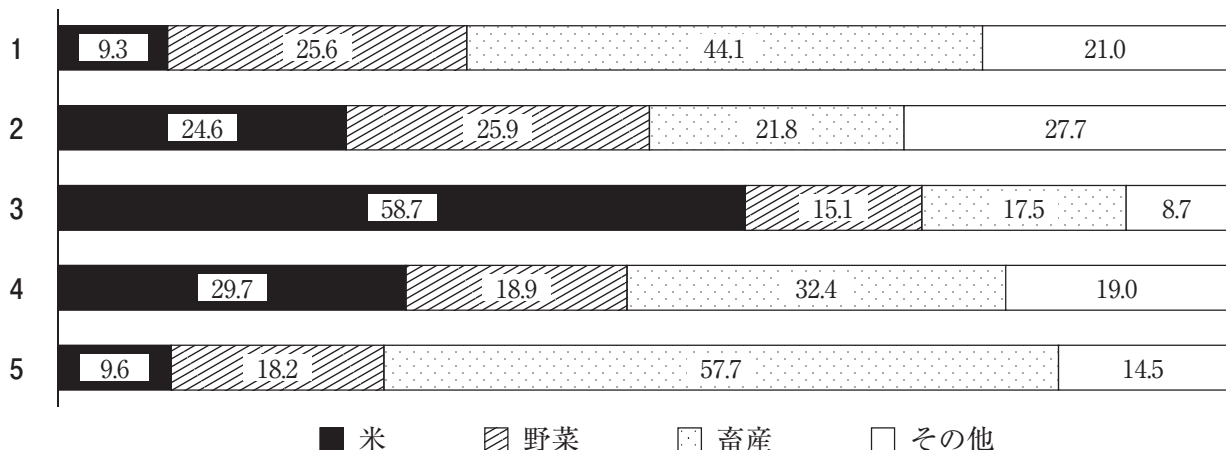
	1980	1990	2000	2010	2015	2016
ア	92,092	95,835	96,817	90,681	91,383	84,569
イ	401,967	557,423	669,177	771,306	908,779	876,866
ウ	82,591	202,272	322,050	288,230	9,437	17,300
エ	-	1	-	22	6,837	11,085
オ	-	-	109	4,016	5,161	5,457
地熱	871	1,741	3,348	2,632	2,582	2,212

(『日本国勢図会2018/19年版』より作成)

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	水力	火力	原子力	風力	太陽光
2	水力	火力	原子力	太陽光	風力
3	水力	火力	太陽光	原子力	風力
4	火力	水力	太陽光	原子力	風力
5	火力	水力	原子力	風力	太陽光

(6) 下のグラフは、日本の地域別の農業産出額の割合(%)を示したものである。各グラフ1～5には北海道地方、東北地方、北陸地方、近畿地方、九州・沖縄地方のいずれかが該当する。東北地方に該当するものを1～5から一つ選べ。解答番号は

地域別の農業産出額の割合(2016年)



(『日本国勢図会2018/19年版』より作成)



(7) 次の文を読み、(ア)、(イ)に当てはまる数字の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

東北地方には(ア)つの県があり、そのなかで県名と県庁所在地名が異なる県は(イ)つある。

- |   | ア | イ |
|---|---|---|
| 1 | 五 | 一 |
| 2 | 五 | 二 |
| 3 | 六 | 一 |
| 4 | 六 | 二 |
| 5 | 六 | 三 |

(8) 東北地方にはさまざまな伝統的工芸品がある。東北地方の伝統的工芸品に該当しないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 天童将棋駒
- 2 南部鉄器
- 3 高岡漆器
- 4 大館曲げわっぱ
- 5 鳴子漆器

(9) 下の表は、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県の府県民所得と、産業別有業者割合、小売業商品販売額を示したものである。表中のア～オに該当する府県名の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

	府県民所得 (億円) (2015年度)	産業別有業者割合(%) (2017年度)			小売業商品販売額 (億円) (2015年度)
		1次産業	2次産業	3次産業	
ア	76,805	1.7	23.6	74.7	29,759
イ	276,414	0.4	23.8	75.7	103,252
ウ	152,345	1.9	25.0	73.0	57,265
エ	34,022	2.3	23.1	74.5	12,477
オ	26,381	8.4	21.0	70.6	9,817

(『データでみる県勢 2019年版』より作成)

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	京都府	兵庫県	大阪府	和歌山県	奈良県
2	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
3	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	奈良県
4	兵庫県	大阪府	奈良県	京都府	和歌山県
5	和歌山県	兵庫県	大阪府	奈良県	京都府

(10) 2018(平成30)年1月「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産協議会」が設置された。この協議会を構成している市の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 和泉市      イ 堺市      ウ 藤井寺市      エ 羽曳野市      オ 富田林市

- 1 アとイとウ
- 2 アとイ
- 3 アとオ
- 4 イとエとオ
- 5 イとウとエ

(問題は次のページへ続きます)

3 次の問いに答えよ。

問1 日本国憲法の条文または条文の一部を読み、次の問いに答えよ。

第五十四条 衆議院が解散されたときは、解散の日から（ア）日以内に、衆議院議員の総選挙を行ひ、その選挙の日から（イ）日以内に、国会を召集しなければならない。

第五十九条 法律案は、この憲法に特別の定のある場合を除いては、両議院で可決したとき法律となる。

2 衆議院で可決し、参議院でこれと異なつた議決をした法律案は、衆議院で（ウ）以上の多数で再び可決したときは、法律となる。

3 前項の規定は、法律の定めるところにより、衆議院が、両議院の協議会を開くことを求めることを妨げない。

4 参議院が、衆議院の可決した法律案を受け取つた後、国会休会中の期間を除いて（エ）日以内に、議決しないときは、衆議院は、参議院がその法律案を否決したものとみなすことができる。

第七十六条 すべて司法権は、最高裁判所及び法律の定めるところにより設置する下級裁判所に属する。

2 （オ）裁判所は、これを設置することができない。行政機関は、終審として裁判を行ふことができない。

3 すべて裁判官は、その良心に従ひ独立してその職権を行ひ、この憲法及び法律にのみ拘束される。

(1) 日本国憲法の公布日において、内閣総理大臣であった人物として正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

1 芦田均      2 片山哲      3 幣原喜重郎      4 鳩山一郎      5 吉田茂

(2) 条文中の（ア）～（エ）に入る数字と語句の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
1	四十	三十	総議員の三分の二	六十
2	四十	三十	出席議員の三分の二	六十
3	四十	三十	総議員の三分の二	四十
4	三十	四十	出席議員の三分の二	四十
5	三十	四十	総議員の三分の二	六十

(3) 条文中の下線部に関して、2019（平成31）年4月現在の衆議院議員の選挙に関する制度として正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 衆議院議員総選挙は、4年ごとに必ず行われる。
- 2 衆議院議員総選挙では、小選挙区選挙と比例代表選挙との重複立候補はできない。
- 3 衆議院議員の定数は、465人で、うち289人が小選挙区選出議員、176人が比例代表選出議員である。
- 4 衆議院議員総選挙の比例代表制における議席配分の計算方式は、ニーマイヤー方式が用いられている。
- 5 衆議院議員の被選挙権を有する者は、満30歳以上でなければならない。

(4) 日本国憲法第五十四条の規定に基づいて召集される国会として正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 通常国会      2 両院協議会      3 特別国会      4 臨時国会      5 公聴会

(5) 条文中の（オ）に入る語句として正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 特別      2 通常      3 弾劾      4 行政      5 憲法

(6) 裁判員の参加する刑事裁判に関する法律の内容として誤っているものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 裁判所が認めた場合を除き、裁判官の員数は三人、裁判員の員数は六人とし、裁判官のうち一人を裁判長とする。
- 2 事実の認定、法令の適用、刑の量定は裁判官及び裁判員の合議によるものである。
- 3 国会議員は、裁判員の職務に就くことができない。
- 4 裁判員裁判の対象となる刑事裁判は、地方裁判所で行われる第一審とその控訴審、上告審である。
- 5 年齢七十年以上の者は、裁判員となることについて辞退の申立てをすることができる。

問2 経済活動に関する次の問いに答えよ。

(1) わが国の中央銀行は日本銀行である。日本銀行について述べた次のア～ウの文のうち正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- ア 日本銀行は、銀行券と貨幣（硬貨）を発行する。
- イ 日本銀行には、最高意思決定機関として政策委員会が置かれている。
- ウ 日本銀行の総裁および副総裁は、衆参両議院の同意を得て、内閣が任命する。

	ア	イ	ウ
1	○	○	○
2	○	×	×
3	×	×	○
4	×	○	○
5	○	○	×

(2) 日本の経済発展と社会的課題に関する次の文を読み、あとの①～③の問いに答えよ。

我が国そして世界を取り巻く環境は大きな変革期にあるといえます。経済発展が進む中、人々の生活は便利で豊かになり、エネルギーや食料の需要が増加し、寿命の延伸が達成され、高齢化が進んでいます。また、経済のグローバル化が進み、A 国際的な競争も激化し、富の集中や地域間の不平等といった面も生じてきています。これら経済発展に相反(トレードオフ)して解決すべき社会的課題は複雑化してきており、B 温室効果ガス (GHG) 排出の削減、食料の増産やロスの削減、高齢化などに伴う社会コストの抑制、持続可能な産業化の推進、富の再配分や地域間の格差是正といった対策が必要になってきています。しかしながら、現在の社会システムでは経済発展と社会的課題の解決を両立することは困難な状況になってきています。

このように世界が大きく変化する一方で、IoT、ロボット、人工知能 (AI)、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼす新たな技術の進展が進んできており、我が国は、課題先進国として、これら先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会である ( ) の実現を目指しています。

内閣府ホームページより作成

① 下線部Aに関連して、特定の国や地域の間で物品の関税やサービス貿易の障壁等を削減・撤廃することを目的とする協定を自由貿易協定という。自由貿易協定の略称として正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

1 WTO      2 EPA      3 FAO      4 IMF      5 FTA

② 下線部Bに関連して、1997（平成9）年12月、日本が議長国となって気候変動に関する国際連合枠組条約第3回締約国会議が開催された。この会議が開催された都市として正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

1 東京      2 横浜      3 名古屋      4 京都      5 大阪

③ 文中の（ ）に入る、2016（平成28）年1月22日に閣議決定された科学技術計画において、情報社会に続く、新しい社会である超スマート社会をあらわす語はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 Society 1.0      2 Society 2.0      3 Society 3.0  
4 Society 4.0      5 Society 5.0

(問題は次のページへ続きます)



4 次の問1～問4の問いに答えよ。

問1 次のA・Bの史料を読んで、(1)～(3)の問いに答えよ。

A (継体天皇)二十二年の冬十一月の甲寅の朔甲子に、大將軍(ア)、親らの賊の帥磐井と、(イ)の御井郡あひたかに交戦ふ。……遂に磐井を斬りて、果して疆場さかひを定む。十二月に、(イ)君葛子、父のつみによ坐りて誅せられむことを恐りて、糟屋(ウ)を献りて、死罪贖はむことを求す。(『日本書紀』)

B (大化)二年の春正月の甲子の朔に、賀正礼畢りて、即ち改新之詔を宣ひて曰はく、「其の一に曰はく、昔在の天皇等の立てたまへる子代の民・処々の(ウ)、及び、別には臣・連・伴造・国造・村首の所有る(エ)の民・処々の(オ)を罷めよ。(『日本書紀』)

(1) 空欄ア、イに当てはまる人名と地名の組合せとして正しいものを次の1～5のうちから一つ選べ。解答番号は

- |   | ア       | イ  |
|---|---------|----|
| 1 | 物部大連麿鹿火 | 吉備 |
| 2 | 物部大連尾輿  | 筑紫 |
| 3 | 物部大連麿鹿火 | 筑紫 |
| 4 | 物部大連尾輿  | 出雲 |
| 5 | 物部連目    | 吉備 |

(2) 空欄ウ、エ、オに当てはまる語句の組合せとして正しいものを次の1～5のうちから一つ選べ。解答番号は

- |   | ウ  | エ  | オ  |
|---|----|----|----|
| 1 | 田莊 | 屯倉 | 部曲 |
| 2 | 屯倉 | 田莊 | 部曲 |
| 3 | 部曲 | 屯倉 | 田莊 |
| 4 | 屯倉 | 部曲 | 田莊 |
| 5 | 田莊 | 部曲 | 屯倉 |

(3) 次の文のうち、下線部「国造」について記したものとして正しいものはどれか。次の1～5のうちから一つ選べ。解答番号は

- 1 ヤマト政権のもとで、伴や部を領有・管理し、ヤマト政権の職務を分掌した豪族である。
- 2 ヤマト政権時代の地方有力豪族で、律令体制下でその多くは国司に任じられている。
- 3 ヤマト政権から各国に派遣され、その地域の庶政一般を掌る地方官である。
- 4 ヤマト政権に所属し、ヤマト政権に種々の物資や労働力を提供した部民である。
- 5 ヤマト政権により設置され、その地方の最も有力な豪族が任じられたとされる地方官である。

問2 次のA・B・Cの史料を読んで、(1)～(2)の問いに答えよ。

A (養老七年夏四月) 辛亥、太政官奏すらく、「頃者、百姓漸く多くして、田池<sup>せぼさ</sup>窄く狭し。望み請はくは、天下に勧め<sup>おほ</sup>課せて、田疇<sup>でんちう</sup>を開闢<sup>ひら</sup>かしめむことを。其れ新に溝池を造り、開墾を営む者有らば、多少を限らず、給ひて三世に伝へむ。若し旧の溝池<sup>したが</sup>に逐はば、その一身に給はむ」とまうす。奏するに可と<sup>このころ</sup>したまふ。(『続日本紀』)

B (天平十五年五月) 乙丑、詔して曰はく、「墾田は養老七年の格に依り、限満つる後は例に依りて収授す。是に由りて農夫怠り倦みて地を開きし後荒みぬ」ときく。今より以後、任に私の財として、三世一身<sup>あげつら</sup>を論ふこと無く、咸悉く永年<sup>すさ</sup>に取ること莫れ。其れ、親王の一品と一位とには五百町、二品と二位とには四百町、三品・四品と三位とには三百町、四位には二百町、五位には百町、六位已下八位已上には五十町、初位已下庶人に至るまでには十町。但し郡司は大領・少領に三十町、主政・主帳に十町。若し先より給ひし地<sup>ち</sup>茲の限に過多すること有らば、便即ち公に還し、……」とのたまふ。(『続日本紀』)

C (天平神護元年三月) 丙申、勅したまはく、「今聞かく、「墾田は、天平十五年の格に縁るに、『今より以後、任に私の財として、三世一身<sup>あげつら</sup>を論ふこと無く、咸悉く永年<sup>すさ</sup>に取ること莫れ』といへり。是に由りて、天下の諸人、競ひて墾田<sup>つく</sup>を為りて、勢力ある家は百姓を駈役し、貧窮の百姓は自在するに暇無し」ときく。今より以後、一切に禁断して加墾せしむること勿れ。但し、寺の<sup>ま</sup>先來定むる地、開墾の次は禁むる限に在らず。また、<sup>そのところ</sup>当土の百姓、一二町は亦<sup>また</sup>許すべし」とのたまふ。(『続日本紀』)

(1) A・B・Cの史料から読み取れる内容について、誤っているものを次の1～5のうちから一つ選べ。解答番号は

- 1 養老七年の格が発せられた背景には、百姓が増加しているのに対し、田や池が狭く不足していることがあった。
- 2 養老七年の格は、新たに溝や池を造って開墾した者があれば、開墾地の多少にかかわらず、三代までの所有を認めた。
- 3 天平十五年の格が発せられた背景には、養老七年の格によって、開墾した田地を期限がくると収公してきたことで、農民が開墾する意欲を失い、開墾した土地が再び荒廃してしまうということがあった。
- 4 天平十五年の格は、品位階に応じて私有できる墾田の面積に制限を付した。
- 5 天平神護元年に、天平十五年の格は廃止され、養老七年の格が復活した。

(2) 史料Bの詔が発せられた後、寺社や貴族による土地私有が進み、いわゆる初期荘園が発生する。次の文のうち、初期荘園について述べたものとして正しいものはどれか。次の1～5のうちから一つ選べ。解答番号は

- 1 初期荘園の代表的なものとして、越前国道守荘や和泉国日根荘などがある。
- 2 初期荘園は、律令国家の地方支配機構である国郡制に依存して経営されていたことから、律令国家の権力が衰退するのに伴い、荒廃あるいは変質していった。
- 3 初期荘園は、寺田、神田などと同様、納租の義務がない不輸租田であった。
- 4 初期荘園は、国免荘ともよばれ、その成立のためには、立券荘号といわれる国の公認を得る手続を行う必要があった。
- 5 初期荘園においては、荘園領主と荘官との間で土地の所有権をめぐる紛争が多発したことから、互いの支配権を認める下地中分の取決めが盛んに行われた。

問3 次の史料を読んで、(1)～(3)の問いに答えよ。なお、史料中において文字が不明なところは□で表している。

寄進し奉る 所領の事  
合せて壺所者<sup>てえり</sup>  
山城国上桂に在り  
四至 東は桂河東堤の樹の東を限る  
南は他領の堺(入り交る)を限る  
西は五本松の下路を限る。  
北は□河の北梅津堺の大榎木を限る  
右、当所は桂の津守建立の地なり。津守津公・兼枝・則光と次第知行相違なし。爰に御威勢を募り奉らんが為に、当庄を以て永代を限り、①院の女坊大納言殿御局に寄進し奉る所なり。中司職に至りては、則光の子々孫々相伝すべきなり。後日の為寄進の状件の如し。  
②長徳三年九月十日 玉手則光 判  
玉手則安 判 (『東寺百合文書』)

(1) この史料から読み取れる内容について、誤っているものを次の1～5のうちから一つ選べ。

解答番号は

- 1 寄進する所領は、全部で一か所ということである。
- 2 寄進する所領には、四方の境界が定められている。
- 3 寄進する所領は、桂の津守が開発した土地である。
- 4 玉手則光の子孫が、荘園領主としてこの所領を代々受け継ぐものとしている。
- 5 院の女坊大納言殿御局の権威にすがるために所領を寄進することになっている。

(2) 下線部①の院とは、女院号のはじめとされる東三条院をさしている。この院号宣下を受けた女性は、藤原兼家の娘、藤原道長の姉であり、円融天皇の女御でもあったが、この人物はだれのことか。次の1～5のうちから一つ選べ。解答番号は

- 1 藤原詮子      2 藤原威子      3 藤原明子      4 藤原宮子      5 藤原彰子

(3) 下線部②の長徳三年とは西暦997年である。この時、藤原道長は内覧として権力を握っていたが、次の文のうち、藤原道長に関して述べたものとして誤っているものを次の1～5のうちから一つ選べ。解答番号は

- 1 藤原道長は内覧に任命された後、摂政・関白に就任し、権勢をふるった。
- 2 藤原道長は後一条、後朱雀、後冷泉3代の天皇の外祖父であった。
- 3 藤原道長は摂政を辞した後に、太政大臣になった。
- 4 藤原道長が詠んだ「此の世をば我が世とぞ思ふ望月のかけたる事も無しと思へば」という和歌は、『小右記』に記載されている。
- 5 藤原道長は、出家とともに寺の建立を発願し、阿弥陀堂などを建て、御堂関白などと称されている。

問4 次のA・Bの史料を読んで、(1)～(2)の問いに答えよ。なお、史料中において文字が不明なところは□で表している。

A 一 仰せ出され候趣、国人并百姓共ニ合点行候様ニ、能々申し聞すべく候。自然、相届かざる覚悟の輩之在るに於ては、城主にて候ハヽ、其もの城へ追入れ、各相談じ、一人も残し置かず、なできりニ申し付くべく候。百姓以下ニ至るまで、相届かざるニ付てハ、一郷も二郷も、悉くなできり仕るべく候。六十余州堅く仰せ付けられ、出羽奥州迄そさうニハさせらる間敷候。たとへ亡所ニ成候ても苦しからず候間、其意を得べく候。山のおく、海はろかいのつゝき候迄、念を入れるべき事専一に候。自然、各退屈するに於ては、関白殿御自身御座成され候ても、仰せ付けらるべく候。急与此返事然るべく候也。

(天正十八年)八月十二日 (秀吉朱印)  
浅野弾正少弼とのへ (『浅野家文書』)

B 右今度御検地を以相定むる條□〔々〕、

- 一、 六尺三寸の桶〔棹〕を以て、(ア)、(イ)歩壹反ニ相極むる事。
- 一、 田畠并在所の(ウ)見届け、斗代相定むる事。
- 一、 口米壹石ニ付いて式升宛、其外役共一切出すべからざる事。
- 一、 (エ)を以て年貢を納所致すべく候。売買も同じ升たるべき事。
- 一、 年貢米、五里、百姓として持届くべし。其□□〔外〕代官給人として持届くべき事。

慶長三年七月十八日 (『西福寺文書』)

(1) Aの史料から読み取れる内容について、誤っているものを次の1～5のうちから一つ選べ。

解答番号は

- 1 検地は、日本全国すみずみまで入念に実施することが大事である。
- 2 検地を実施する者が、検地を粗末に扱った時は、その者を罷免する。
- 3 検地を実施する者が、検地を怠った場合は、秀吉自らが出かけて命令するであろう。
- 4 検地の趣旨に納得しない者がいたら、城主、百姓以下を問わずすべてなで斬りにする。
- 5 検地を行ったことによって、耕作者のいない荒地が発生してもかまわないものとする。

(2) Bの史料は、石盛に関するものである。空欄ア・イ・ウ・エに当てはまる数字・語句の組合せとして正しいものはどれか。次の1～5のうちから一つ選べ。解答番号は

	ア	イ	ウ	エ
1	六間六拾間	三百六十	上中下	宣旨升
2	五間六拾間	三百	国郡里	京升
3	五間六拾間	三百	上中下	京升
4	六間六拾間	三百六十	上中下	京升
5	六間六拾間	三百六十	国郡里	宣旨升

5 次の問1～問4の問いに答えよ。

問1 以下の〔表〕は、徳川家康が任命し、江戸幕府開設後も常設されたある役職（A）について、（A）に就任した大名を一覧表にしたものである。また、〔説明文〕は〔表〕に関連する文章である。あとの（1）～（4）の問いに答えよ。

〔表〕

(A)	氏名	在職期間	将軍	領地
初代	板倉勝重	1603－1620	初,2代	近江・山城他
2代	板倉重宗	1620－1654	2,3,4代	下総関宿
3代	牧野親成	1654－1668	4代	下総関宿
4代	板倉重矩	1668－1670	4代	三河中嶋
5代	永井尚庸	1670－1676	4代	山城・摂津他
6代	戸田忠昌	1676－1681	4,5代	相模・下総他
7代	稲葉正通	1681－1686	5代	河内・摂津他
8代	土屋政直	1686－1687	5代	駿河田中
9代	内藤重頼	1687－1690	5代	下野・常陸他
10代	松平信興	1690－1691	5代	常陸土浦
11代	小笠原長重	1691－1702	5代	三河吉田
12代	松平信庸	1702－1714	5,6,7代	丹波篠山
13代	水野忠之	1714－1717	7,8代	三河岡崎
14代	松平忠固	1717－1724	8代	信濃上田
15代	牧野英成	1724－1734	8代	丹後田辺
16代	土岐頼稔	1734－1742	8代	摂津・河内他
17代	牧野貞道	1742－1749	8,9代	日向延岡
18代	松平資訓	1749－1752	9代	遠江浜松
19代	酒井忠用	1752－1756	9代	若狭小浜
20代	松平輝高	1756－1758	9代	上野高崎
21代	井上利容	1758－1760	9,10代	摂津・河内他
22代	阿部正右	1760－1764	10代	備後福山
23代	阿部正允	1764－1769	10代	武蔵忍
24代	土井利里	1769－1777	10代	下総古河
25代	久世広明	1777－1781	10代	下総関宿
26代	牧野貞長	1781－1784	10代	常陸笠間
27代	戸田忠寛	1784－1787	10,11代	下野宇都宮
28代	松平乗完	1787－1789	11代	三河西尾

(A)	氏名	在職期間	将軍	領地
29代	太田資愛	1789－1792	11代	遠江掛川
30代	堀田正順	1792－1798	11代	下総佐倉
31代	牧野忠精	1798－1801	11代	越後長岡
32代	土井利厚	1801－1802	11代	下総古河
33代	青山忠裕	1802－1804	11代	丹波篠山
34代	稲葉正謙	1804－1806	11代	山城淀
35代	阿部正由	1806－1808	11代	武蔵忍
36代	酒井忠進	1808－1815	11代	若狭小浜
37代	大久保忠真	1815－1818	11代	相模小田原
38代	松平乗寛	1818－1822	11代	三河西尾
39代	内藤信敦	1822－1825	11代	越後村上
40代	松平康任	1825－1826	11代	石見浜田
41代	水野忠邦	1826－1828	11代	遠江浜松
42代	松平資始	1828－1831	11代	丹後宮津
43代	太田資始	1831－1834	11代	遠江掛川
44代	松平信順	1834－1837	11代	三河吉田
45代	土井利位	1837－1838	12代	下総古河
46代	間部詮勝	1838－1840	12代	越前鯖江
47代	牧野忠雅	1840－1843	12代	越後長岡
48代	酒井忠義	1843－1850	12代	若狭小浜
49代	内藤信親	1850－1851	12代	越後村上
50代	脇坂安宅	1851－1857	12,13代	播磨竜野
51代	本多忠民	1857－1858	13代	三河岡崎
52代	酒井忠義	1858－1862	13,14代	若狭小浜
53代	松平宗秀	1862	14代	丹後宮津
54代	牧野忠恭	1862－1863	14代	越後長岡
55代	稲葉正邦	1863－1864	14代	山城淀
56代	松平定敬	1864－1867	14,15代	伊勢桑名

※『国史大辞典』（吉川弘文館）をもとに作成

〔説明文〕

〔表〕は、江戸幕府が設置した地方組織の役職である（ A ）に就任した人物を一覧表にしたものである。（ A ）は朝廷・公家・社寺に関する庶務や、（ A ）が設置された周辺諸国の司法・民政を担当する重職で、定員は1名、役高は1万石で、譜代大名が任じられることが決まりであった。また、1620（元和5）年に内藤信正が任じられた（ B ）は、担当地域の幕府諸役人をまとめ、政務を統轄するとともに、（ A ）とならび西国大名の監視等、江戸幕府の西国支配の中核的役割を果たす重要な職制であった。

1862（文久2）年に（ A ）の上位機関として（ C ）という役職が新設されると、松平容保が（ C ）に就任し、動乱期の畿内近国の治安維持にあたった。56代目（ A ）に就任した松平定敬は桑名藩主であり、松平容保の弟である。

- (1) 〔説明文〕中の空欄（ A ）～（ C ）にあてはまる語句を答えよ。
- (2) 大老は常置の職ではないが、幕政全般を統轄する地位である。江戸時代を通じてのべ10名が就任しており、大老を輩出した大名家は4家であった。〔表〕を見ると、この4家のうち1家のみが（ A ）の役職に就任していないことがわかる。その大名家の名字を答えよ。
- (3) 〔説明文〕中の下線部の人物が藩主を務めた藩名を答えよ。
- (4) あなたは、〔表〕中の（ A ）の人物に関連したことがらについて、生徒に辞典や史料等の諸資料を活用して、カードに簡潔に表現させることにした。次のカード（ア）～（ウ）は生徒がまとめたものであるが、それぞれどの人物に関する記述か、〔表〕中の（ A ）の人物から選んで氏名を答えよ。

（ア）8月18日の政変では、急進派を封じ込める等幕府を支えていたが、鳥羽・伏見の戦いでは新政府軍に恭順する態度をとって、城門を閉ざして旧幕府軍を拒絶した。

（イ）（ A ）に就任したのち、享和元年から文化13年まで16年間老中を務めた。文政3年に領地の排水路掘削を完成させ、信濃川下流域（現：新潟県西蒲原郡）の低湿地帯の湛水を日本海へ流して洪水を減らし、新田17カ村を造成した。文政11年から3年間、再び老中に就任した。

（ウ）（ A ）に就任したのち老中に就任した人物で、外国船に対する打払令を改めて薪水給与令を発令した。また、高島秋帆らに西洋流砲術を導入させ、近代軍備を整えた。

問2 以下の史料を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

御旗本ニ被召置候御家人、御代々段々相増候。御蔵入高も先規よりハ多候得共、御切米、御扶持方、其外表立候御用筋渡方ニ引合候ては、畢竟年々不足之事ニ候。……今年ニ至て御切米等も難相渡、御仕置筋之御用も御手支之事ニ候。それニ付、御代々御沙汰無之事ニ候得共、万石以上之面々より①八木差上候様ニ可被仰付と思召、左候ハねは、御家人之内数百人、御扶持可被召放より外は無之候故、御恥辱を不被顧、被仰出候。高壺万石ニ付八木(A)石積り可被差上候。……依之、在(B)半年充被成御免候間、緩々休息いたし候様ニ被仰出候。

- (1) 空欄(A)(B)にあてはまる語句を答えよ。
- (2) この史料は、江戸幕府の評定所が1615年～1743年の129年間の法令を編纂した法令集に収められている。官撰の法令集は江戸時代を通じて全4回にわたり編纂されたが、当時は正式な呼称が無く、1934(昭和9)年にこの法令集が刊行された際にその編纂者によって命名されたが、その名称を漢字7字で答えよ。
- (3) 下線部①は、何のことを示しているか、答えよ。
- (4) 「幕府の直轄領からの年貢収入」を示す語句を、史料中から抜き出せ。
- (5) この史料で述べられている制度を新たに設けた背景について、史料から読み取り、50字以内で述べよ。
- (6) この史料の政策が出された吉宗の治世に実施された政策でないものを、次のア～カのうちから二つ選び、記号で答えよ。
  - ア 大坂堂島の米市場の相場を公認した。
  - イ 新田開発を推進し、紫雲寺潟新田や飯沼新田などができた。
  - ウ 薬用としての人参の栽培を計画し、各藩に栽培を奨励した。
  - エ 蝦夷地の開発を計画し、最上徳内ら蝦夷地調査隊を派遣した。
  - オ 聖堂の改革を行い、柴野栗山・尾藤二洲・古賀精里らに昌平坂学問所で講義をさせた。
  - カ 寺社奉行・町奉行・勘定奉行らが中心となり、法令や判例から裁判や刑罰の基準を定めた。

問3 以下の史料を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えよ。

徳川内府従前御委任ノ(A)返上、將軍職辞退之両条、今般断然被聞食候。抑①癸丑以来未曾有之國難、②先帝頻年被悩宸襟候御次第、衆庶之知所候。依之被決叡慮、王政復古、國威挽回ノ御基被爲立候間、自今撰関・(B)等廢絶、即今先仮ニ、総裁・議定・参与之③三職被置、万機可被爲行。諸事神武創業之始ニ原キ、縉紳・武弁・堂上・地下之無別、至当之公儀ヲ竭シ、天下ト休戚ヲ同ク可被遊叡慮ニ付、各勉勵旧来驕惰之汚習ヲ洗ヒ、尽忠報国之誠ヲ以テ可致奉公候事。……  
(『法令全書』)

- (1) 空欄(A)・(B)にあてはまる語句を答えよ。



(2) 下線部①について、幕政を揺るがすいまだかつてない困難のきっかけとなった、癸丑年（嘉永6年）6月に起きた出来事とは何か、答えよ。

(3) 下線部②はだれのことか、答えよ。

(4) 下線部③は、総裁、議定、参与の役職のことである。それぞれの役職にあてはまる人物を、次のア～エのうちからすべて選び、記号で答えよ。

ア 大久保利通      イ 山内豊信      ウ 福岡孝弟      エ 有栖川宮熾仁

(5) この史料ののちに実施される明治政府の諸政策ア～エについて、時代の古い順に左から右へ並べ、記号で答えよ。

ア 内務省を創設し、大久保利通が初代内務卿に就任した。

イ 兵部省を廃止し、陸軍省と海軍省をおいた。

ウ 全国の知藩事が罷免され、中央から府知事・県令が派遣された。

エ 政治結社や集会の届け出制、警察への集会解散権の付与などを規定した条例を公布した。

問4 以下の史料を読んで、あとの(1)～(4)の問いに答えよ。

漸次に①選挙権を拡張する事は何等異議なき処にして、又他年国情ここに至れば所謂普通選挙も左まで憂ふべきにも非らざれども、階級制度打破と云ふが如き現在の社会組織に向て打撃を試んとする趣旨より②納税資格を撤廃すと云ふが如きは実に危険極る次第にて、此の民衆の強要に因り現代組織を破壊する様の勢を作らば実に国家の基礎を危ふするものなれば、寧ろ此際議會を解散して政界の一新を計るの外なきかと思ふと閣僚に相談せしに、皆同感を表し、高橋蔵相の如きは此れは国家を救ふものなりと云ひ山本も此問題にて解散するの利害もあれども到底此儘になし置く時は将来意外の結果を来すべしと云ひ、……」

『(A)日記』1920(大正9)年2月20日条)

(1) 空欄(A)にあてはまる、1920年に内閣総理大臣を務めていた人物名を答えよ。

(2) (A)内閣の際に制定された、従前の帝国大学に加えて、公立・私立の大学および単科大学を大学として認めた法令を何というか、答えよ。

(3) 下線部①に関連して、わが国における選挙権の拡大について述べたものとして正しいものはどれか、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 黒田清隆内閣の際の国内における選挙人の比率は、全人口比の約5.5%であった。

イ 第2次山県有朋内閣の際に衆議院議員選挙法が改正され、選挙人の資格が直接国税を3円以上納める満25歳以上の男性となった。

ウ 第1次加藤高明内閣の際の国内における選挙人の比率は、全人口比の約50.4%であった。

エ 幣原喜重郎内閣の際に衆議院議員選挙法が改正され、日本で初めて女性にも参政権が与えられた。

(4) 日記の著者が下線部②のように考えた理由を、日記の記述をふまえながら、当時の国内外の情勢にも言及して、80字以内で答えよ。

